

マイクロブログの利用行動

— twitterユーザーの予備調査 —



加藤恭子

東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科
博士課程

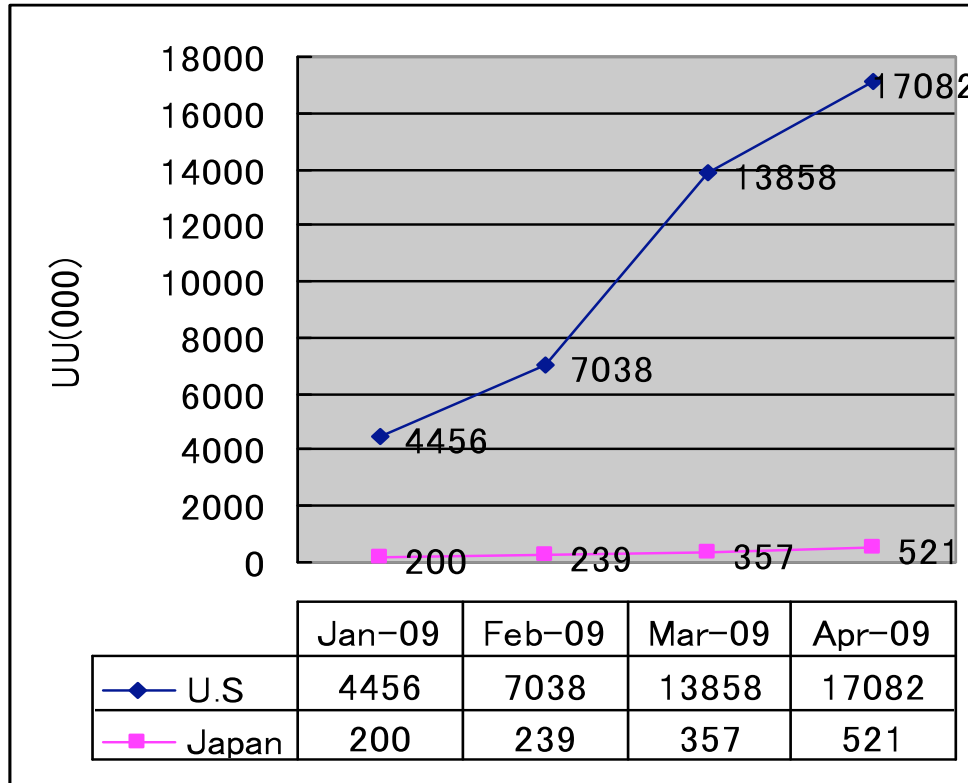
川浦康至 (指導教員)

東京経済大学コミュニケーション学部





目的



Twitterユーザー
の利用行動を明らか
かにしたい

cf. ブログやSNS:
友人との関係維持

ユニークユーザー数の伸び
(**NetRatings, 2009**)



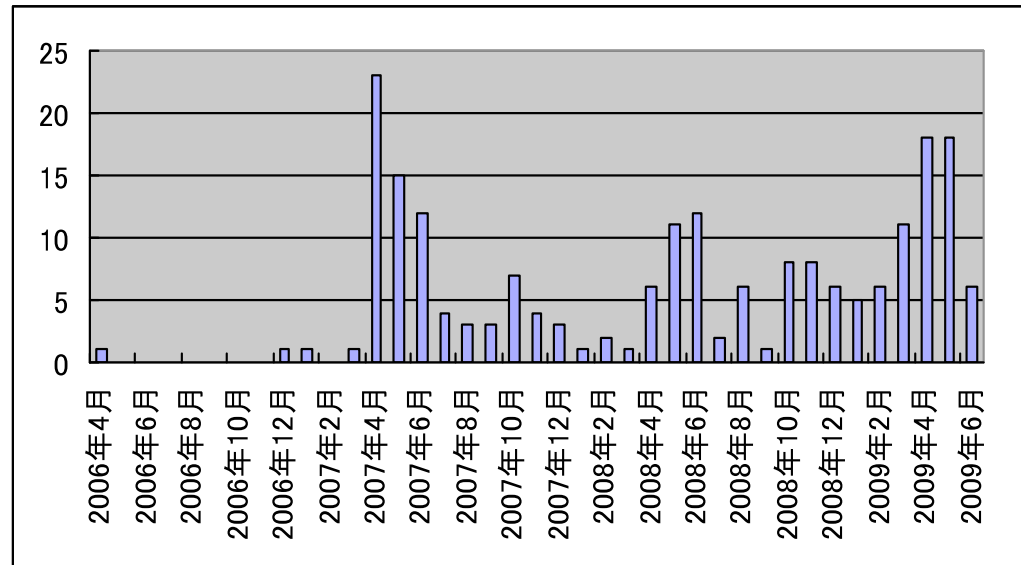


方法

- 調査方法
Google Documentsによるオンライン調査
- 調査期間
2009年6月8日-11日
- 有効回答
202 (男性**162**、女性**40**)
- 主要設問
 1. **Twitter**の利用頻度、利用動機、利用開始時期
 2. つぶやきの内容、フォロー数、被フォロー数
 3. フォローしている相手との接触頻度



結果



回答者の**Twitter**登録時期：**6割**が**2008**年以降
 (cf. **HubSpot**の調査：**7割**が**2008**年以降の登録)

フォロー(Following)数	平均 217.5
被フォロー(Followers)数	平均 210.8 (botを含む)
cf. HubSpot の調査	
フォロー(Following)数	平均 69
被フォロー(Followers)数	平均 69.5

今回の回答者を米国調査と比べると...

- ・利用開始時期が早い
- ・フォロー数も被フォロー数も多い

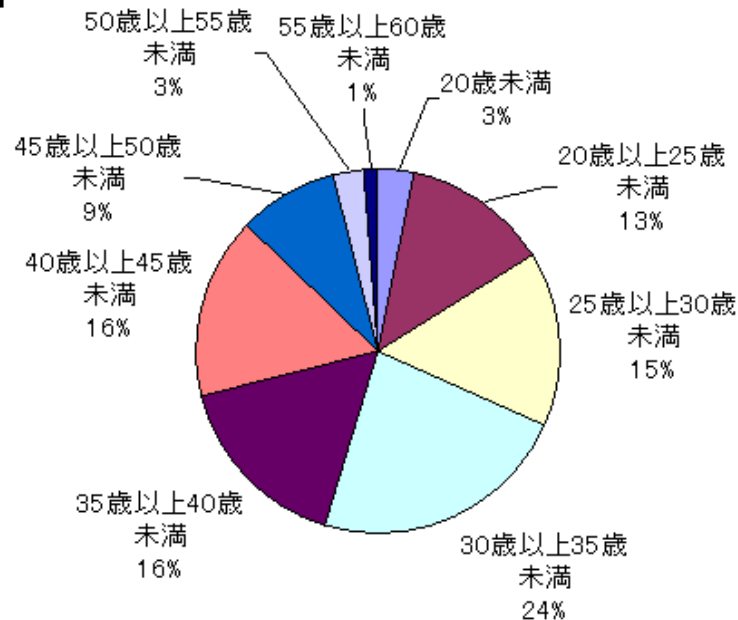
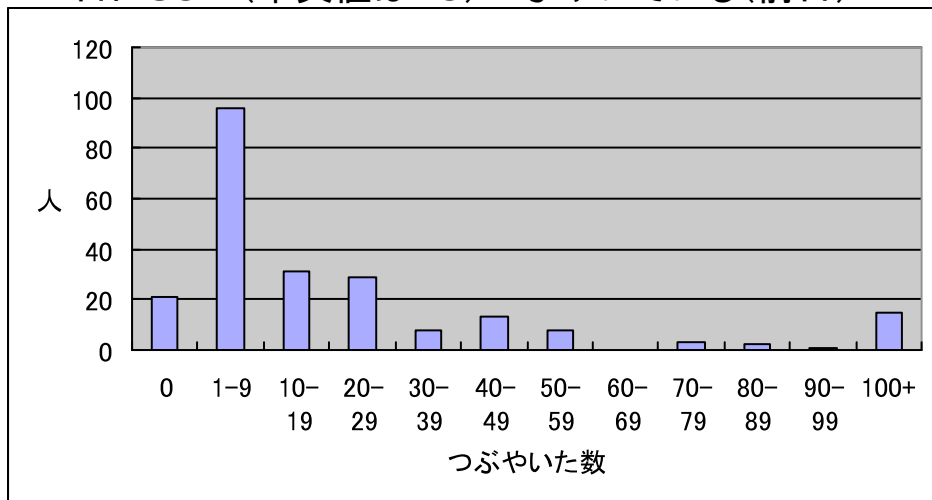
→ヘビーユーザー

回答者

年齢は高め(70%が30歳以上)

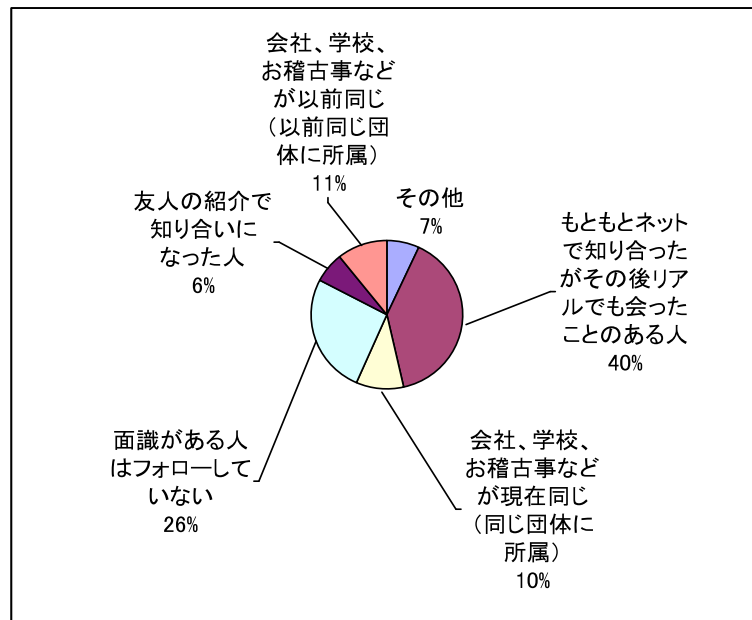
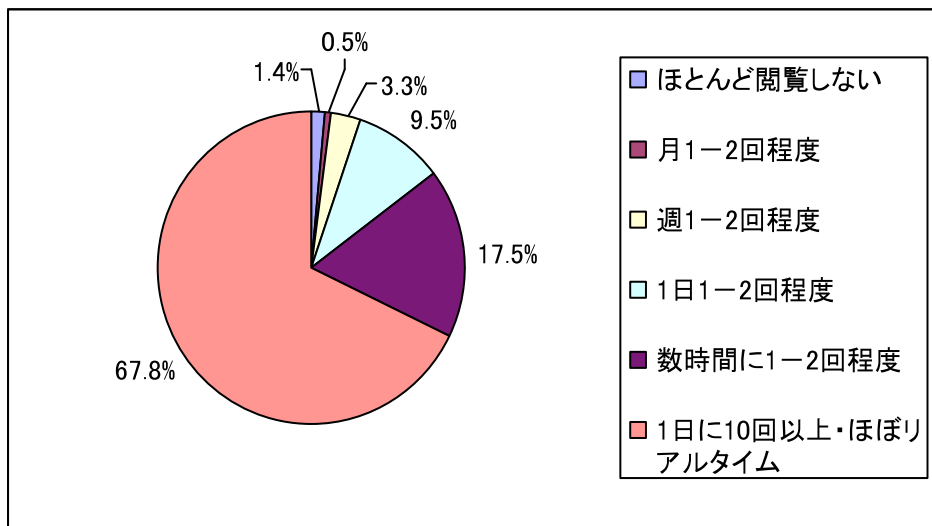
cf. PewInternet(2009)中央値が31歳

一日に**30.1**(中央値は**10**)つぶやいている(前日)



40%が「ネットでは出会った友人」をフォローしている

95%がつぶやきを毎日見ている





つぶやきをフォローする理由

a.面識のある人

b.面識のない人

	抽出語	出現数	抽出語	出現数
1	人	29	興味	35
2	知る	19	人	31
3	情報	16	情報	25
4	自分	15	自分	24
5	Twitter	14	面白い	19
6	フォロー	14	知る	16
7	考え方	11	書く	14
8	面白い	11	考え方	11
9	思う	10	多い	11
10	興味	13	フォロー	10
11	持つ	8	見る	10
12	友人	8	思う	10
13	近況	7	趣味	10
14	ポスト	6	気になる	8
15	会う	6	持つ	8
16	気になる	6	読む	8
17	考える	6	違う	7
18	仕事	6	世界	7
19	近い	5	発言	7
20	今	5	言葉	6

・分析データ

その人のつぶやきをフォローする理由(自由記述)

- 面識のある人
- 面識のない人

・回答者

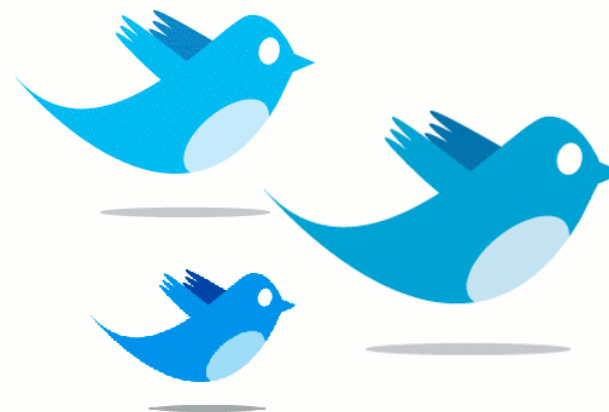
- 会社員・派遣社員 **97人**
- フリーランス・自営 **26人**
- 学生 **21人**
- 会社経営 **10人**

・結果(テキストマイニング)

-aもbも上位頻出語は似ている

ex. 人、情報、知る、自分、考え方、面白い

-面識の有無に関わらず、情報入手が**Twitter**の利用目的となっている





結論



1. 面識の有無とフォローする理由
関連が見られない

1. フォローする理由

学生≠社会人

1. 一番気になるつぶやきをする人

ネット上で知り合った人



Twitterはブログや**SNS**とは
異なる対人メディア空間となっ
ている



参考文献

1. boyd, d. (2006). Friends, friendsters, and top 8. <<http://firstmonday.org/htbin/cgiwrap/bin/ojs/index.php/fm/article/view/1418/1336>>
2. Ellison, N., Steinfield, C., & Lampe, C. (2007). The benefits of Facebook “friends.” *Journal of Computer-Mediated Communication*, 12 (4). <<http://jcmc.indiana.edu/vol12/issue4/ellison.html>>
3. HubSpot(2008). State of the Twittersphere. <http://cdnqa.hubteam.com/State_of_the_Twittersphere_by_HubSpot_Q4-2008.pdf>
4. 加藤恭子 (2006). 友人ブログと他人ブログ 日本社会心理学会47回大会 <http://db1.wdc-jp.com/cgi-bin/jssp/wbpnew/master/detail00.php?submission_id=2006E-0095>
5. 加藤恭子・川浦康至 (2007).人はなぜブログを読むのか コミュニケーション科学 (東京経済大学コミュニケーション学部), 26, 91-103.
6. NetRatings (2009). 米国発のマイクロブログサービス「Twitter」の利用者が日本でも順調に増加 <http://csp.netratings.co.jp/nnr/PDF/Newsrelease05272009_J.pdf>
7. Pew Internet (2009). Twitter and status updating. <http://www.pewinternet.org/Experts/~//link.aspx?_id=2CB2AFA2A1484EFB9CE986F0A4F67EC5&_z=z>